

# 算数科 小学校 3年

## 単元名「表とグラフ」

### 本時の流れ (第2時)

本時の目標

○棒グラフの意味を理解し、読む。

本時のめあての把握

- ・前時にまとめた「きぼうするスポーツ」の表を示し、一目で分かるグラフを考えることを把握する。

【めあて】

人数の多い少ないが、ひと目で、わかるようなグラフの表し方を工夫しよう。

自力解決

- ・各自が工夫して、方眼マスワークシートにグラフをかく。

「活用」の力育成のために

自由に工夫させ、工夫点を文で記述させる。  
(ポイント①②③)

☆方眼マスワークシートを配布して、各自に自由に工夫させる。

- ・目盛りを入れる。
- ・5目盛りごとに太線にする。
- ・2年生既習の○グラフのマス塗りつぶす。

☆既習事項を活かし、工夫点をワークシートに記述させることで、考えをまとめさせる。

集団解決

- ・各自の工夫点を話し合い、よさを確認する。
- ・棒グラフを提示し、「棒グラフ」の用語を導入し、表と比較して、特徴やよさをまとめる。
  - ・人数の大きさを棒の長さでとらえられる。
  - ・1目盛りは1人を表している。

☆各自の工夫点やよさを説明させ、考えを練らせて、棒グラフに導く。

☆棒グラフと類似したグラフがあれば、最後に取り上げる。

☆棒グラフの特徴を捉えさせ、説明させる。

- ・○グラフより簡単にかける。
- ・表と同じように、表題、スポーツの種類などを表示する。
- ・棒の長さが人数の大きさを示す。

「活用」の力育成のために

工夫点やよさを説明させる。また、他の児童の工夫を取り入れさせ、分かりやすい棒グラフにまとめさせる。  
(ポイント①③④⑤)

### 「活用」の力を育てるポイント

- ①方眼マスと項目のみのワークシートを配付して煩雑さを感じさせ、より分かりやすくする工夫点を取り上げながら、棒グラフのよさを考えさせる。
- ②机間指導で工夫点をとらえ、○グラフから棒グラフへ導くように計画的に指名して、考えを積み上げるようにする。
- ③作業の個人差、話し合いなど、時間配分に配慮する。
- ④児童に解決させる事項と棒グラフに関して教師が教える事項を区別する。
- ⑤工夫を分かりやすく説明させるとともに、他の児童の工夫のよさをとらえさせる。

適応問題

- ・棒グラフの意味を理解し、読むことの習熟を図る。

「活用」の力育成のために

机間指導により定着度を把握して、個に応じた指導をする。  
(ポイント③④)

学習のまとめ

学びの振り返りを書く。

HOME

単元の流れへ

授業展開例へ